

[資料2-1] 平成26年度の市町村における児童虐待対策の取組状況

項目	奈良市	大和高田市	大和郡山市	天理市	橿原市	桜井市	五條市	御所市	生駒市	香芝市	葛城市	
<基本的データ>												
1	児童人口(0~17歳)	54,700	9,531	13,447	11,996	20,613	9,166	4,370	3,249	21,508	16,150	6,732
2	妊娠届出数	2,816	475	682	599	1,057	529	189	146	976	800	370
3	児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	549	70	79	94	316	173	9	55	154	86	42
<母子保健分野の状況> *H27.3.31時点												
1	母子健康手帳の交付(妊娠届出時)の保健師の面接実施率	68.3%	100.0%	36.5%	100.0%	99.9%	75.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	96.3%	96.1%	96.8%	95.6%	95.3%	92.9%	99.5%	97.3%	93.5%	98.3%	97.8%
3	同未受診児の現認率*	89.6%	93.3%	5.0%	72.0%	32.0%	100.0%	100.0%	0.0%	22.8%	91.7%	100.0%
4	1歳6ヶ月児健康診査受診率	93.6%	97.4%	95.8%	95.5%	82.6%	92.3%	98.3%	92.6%	96.4%	98.3%	96.2%
5	同未受診児の現認率*	78.2%	81.8%	92.3%	92.3%	77.4%	100.0%	33.3%	70.0%	20.5%	100.0%	93.3%
6	3歳児健康診査受診率	88.1%	94.5%	89.6%	83.3%	75.3%	89.2%	96.3%	80.4%	84.6%	96.8%	94.9%
7	同未受診児の現認率*	85.2%	88.0%	84.3%	42.5%	82.8%	100.0%	28.6%	93.1%	33.3%	88.9%	95.0%
8	母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<子育て支援事業の状況>												
1	乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	同事業の訪問率	98.8%	98.5%	94.0%	93.0%	97.5%	99.5%	99.4%	96.9%	97.2%	95.9%	93.9%
3	養育支援訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	同事業の年間訪問戸数	35	131	17	1	22	1	8	6	18	48	30
5	子育て短期支援事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	一時預かり事業の実施	○	○	—	○	○	○	○	—	○	○	○
7	児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	1,269	101	44	13	157	161	8	56	366	19	143
8	未所属児童の現認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	民生・児童委員を活用した子育て支援事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			・母子手帳交付や予防接種時に実施したアンケートで「訪問してもよい」を回答した家庭への訪問支援	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・地域における児童虐待事例の見守り依頼を実施	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・地域子育て支援拠点事業や幼児健診時に連携協力	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業 ・児童虐待事例の家庭訪問支援、会議への参加	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業 ・児童虐待事例にかかる情報提供	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業
<広報啓発の状況>												
1	オレンジリボンキャンペーンの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	啓発の方法等	・児童虐待通告を促すポスターの掲示。 ・リーフレットの配布及び担当課窓口への設置。	・毎月広報誌に虐待通告を促す記事を掲載。 ・市民向けイベントで啓発物品を配布。	・市民向けイベントでのオレンジリボンの配布及びオレンジリボンの作成・展示。 ・民生児童委員等による「親子まつり/イベント」で横断幕掲示等広報啓発活動。	・広報誌への啓発文書を掲載。 ・虐待通告のあった近隣家庭への啓発用チラシの配布。 ・学校、幼稚園、保育所の職員に対して訪問による啓発活動実施。 ・天理大学生と合同による啓発活動実施。	・市民向けイベントで啓発物品を配布。 ・児童虐待防止月間の液晶広告によるPR、ポスターの貼付、チラシの配布。	・広報誌に児童虐待防止の記事掲載。 ・市民向けイベントで啓発物品を配布。 ・市役所等での啓発展示。 ・街頭啓発。	・毎月広報誌に4コマ漫画掲載。 ・市民向けイベントでの啓発活動実施。	・年度当初に各関係機関の管理職を通して啓発。 ・学校、幼稚園、保育所等の訪問による職員や保護者向け啓発。 ・地域住民向け講座。	・広報誌に児童虐待の通告を促す記事を掲載。	・奈良県下合同街頭キャンペーンに参加。	・全市民職にオレンジリボン啓発物品を配布。 ・市民向けイベントで街頭啓発、啓発物品の配布。 ・11月の広報誌に「児童虐待防止推進月間」を掲載。
<児童虐待への対応状況>												
1	要対協個別ケース検討会議開催回数	208	39	27	12	36	36	14	6	240	10	11
2	家庭児童相談員の配置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	児童虐待関連業務への実質対応職員数	6.6	4.4	1.7	3.7	6.1	3.3	0.8	3.2	7.7	1.3	2.8
4	実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	83.2	15.9	46.5	25.4	51.8	52.4	11.3	17.2	20.0	66.2	15.0
5	児童虐待対応のための体制拡充											
	①職員の増員	○(H23、H26)	○(H23、H24、H26)	○(H24)	○(H25、H26)	○(H23、H25)	○(H24)	○(H24)	○(H23、H24)	○(H25)	○(H23、H24、H26)	○(H25)
	②広報啓発の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③研修会の開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	④備品購入・改修等の環境整備	○(H23)	○(H23)		○(H23)		○(H23)		○(H23、H26)	○(H24、H26)		
	⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築	○(H25)				○(H23)	○(H22以前)	○(H22以前)		○(H23)		
	⑥その他の体制強化				・受理会議後の市関係各課によるタイムリーな情報共有にかかわる体制整備(H25~)		・保育所におけるソーシャルスキルトレーニング(ファンフレンド)実施	・通告等の様式を見直し、関係機関で共有		・BPプログラムの実施 ・保育所におけるソーシャルスキルトレーニング(ファンフレンド)実施		

[資料2-1] 平成26年度の市町村における児童虐待対策の取組状況

項目		宇陀市	山添村	平群町	三郷町	斑鳩町	安堵町	川西町	三宅町	田原本町	曾爾村	御杖村
<基本的データ>												
A	1 児童人口(0~17歳)	4,040	393	2,617	3,609	4,732	952	1,302	921	5,183	132	122
	2 妊娠届出数	157	18	94	185	210	47	63	34	241	2	6
	3 児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	16	1	15	6	21	15	17	8	53	0	1
<母子保健分野の状況> *H27.3.31時点												
B	1 母子健康手帳の交付(妊娠届出時)の保健師の面接実施率	92.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	88.2%	86.7%	100.0%	100.0%
	2 乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	98.2%	92.3%	100.0%	98.2%	97.5%	100.0%	98.4%	100.0%	97.6%	87.5%	100.0%
	3 同未受診児の現認率*	66.7%	0.0%	-	0.0%	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	100.0%	-
	4 1歳6ヶ月児健康診査受診率	95.6%	86.7%	94.5%	93.3%	96.8%	93.9%	98.3%	95.7%	89.8%	88.9%	-
	5 同未受診児の現認率*	57.1%	0.0%	100.0%	0.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	82.8%	100.0%	-
	6 3歳児健康診査受診率	90.3%	100.0%	92.4%	87.1%	91.9%	96.9%	88.9%	89.8%	88.2%	100.0%	100.0%
	7 同未受診児の現認率*	17.6%	-	80.0%	27.3%	95.7%	100.0%	66.7%	100.0%	54.8%	-	-
	8 母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<子育て支援事業の状況>												
C	1 乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 同事業の訪問率	96.7%	100.0%	100.0%	87.3%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%	100.0%	75.0%
	3 養育支援訪問事業の実施	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 同事業の年間訪問戸数	3	-	31	12	8	40	2	0	23	0	5
	5 子育て短期支援事業の実施	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-
	6 一時預かり事業の実施	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-	○
	7 児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	52	0	32	5	0	42	0	0	30	0	3
	8 未所属児童の現認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 民生・児童委員を活用した子育て支援事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・児童虐待対応における連携	・乳児家庭全戸訪問事業	-	-	・妊婦健診、乳児健診、子育て教室にて民生児童委員の紹介。 ・民生児童委員による育児相談を実施。	・児童虐待防止に向けた啓発活動	・児童虐待防止に向けた啓発活動	-	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業
<広報啓発の状況>												
D	1 オレンジリボンキャンペーンの実施	○	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-
	2 啓発の方法等	・広報誌に児童虐待防止の啓発記事掲載。 ・市民向けイベントでチラシ及び啓発物品を配布。 ・市内の小・中学校、中学校、幼稚園、保育所の全児童にチラシ配布。 ・駅前で街頭啓発。	・民生児童委員にオレンジリボンを配布。	・オレンジリボンを住民と職員に配布。	・町民向けイベントでパネル展示及びオレンジリボンの配布。	・広報誌11月号に啓発記事を掲載。 ・町民向け講座を開催。	・広報誌およびホームページに掲載。 ・町民向けイベントでオレンジリボン等の啓発物品を配布。 ・オレンジリボンメニューの作成。	・広報誌に啓発記事を掲載。 ・町民向けイベントでオレンジリボン配布。	・幼稚園、保育所、保健センターへのワープレット配布。 ・広報誌及びホームページに掲載。 ・ポスターの掲示。	・広報誌11月号に記事を掲載。	-	・住民向けイベントにて啓発物品配布。
<児童虐待への対応状況>												
E	1 要対協個別ケース検討会議開催回数	7	1	7	7	2	47	5	5	11	0	2
	2 家庭児童相談員の配置	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 児童虐待関連業務への実質対応職員数	1.6	0.2	0.7	0.8	0.4	1.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.1
	4 実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	10.0	5.0	21.4	7.5	52.5	11.5	42.5	20.0	106.0	0.0	10.0
	5 児童虐待対応のための体制拡充	①職員の増員 ○(H24) ○(H24) ②広報啓発の実施 ○ ○ ③研修会の開催 ○ ○ ④備品購入・改修等の環境整備 ○(H25) ○(H24) ○(H24) ○(H23) ○(H23) ⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築 ○(H23) ○(H23)										
6 その他の体制強化	・コモンセンス・ペアレンティングの講座開催(前期・後期全14回) ○(H24) ○(H23)											

[資料2-1] 平成26年度の市町村における児童虐待対策の取組状況

項目		高取町	明日香村	上牧町	王寺町	広陵町	河合町	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	天川村
<基本的データ>												
A	1 児童人口(0~17歳)	947	716	3,563	3,680	6,521	2,533	687	2,858	592	58	149
	2 妊娠届出数	35	25	102	272	265	93	24	91	21	1	3
	3 児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	4	0	27	4	16	14	0	37	0	0	3
<母子保健分野の状況> *H27.3.31時点												
B	1 母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	100.0%	100.0%	90.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	84.6%	100.0%	100.0%	100.0%
	2 乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	90.6%	87.5%	98.2%	99.5%	99.3%	98.0%	100.0%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3 同未受診児の現認率*	100.0%	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	50.0%	-	100.0%	-	-	-
	4 1歳6ヶ月児健康診査受診率	88.2%	85.3%	92.6%	96.7%	97.8%	98.2%	91.7%	92.0%	88.2%	100.0%	75.0%
	5 同未受診児の現認率*	0.0%	60.0%	77.8%	37.5%	100.0%	100.0%	50.0%	33.3%	100.0%	-	100.0%
	6 3歳児健康診査受診率	96.6%	94.6%	85.8%	95.9%	96.7%	90.4%	93.0%	95.0%	95.5%	100.0%	100.0%
	7 同未受診児の現認率*	0.0%	100.0%	10.5%	20.0%	100.0%	100.0%	100.0%	42.9%	100.0%	-	-
	8 母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<子育て支援事業の状況>												
C	1 乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 同事業の訪問率	84.2%	100.0%	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	94.1%	100.0%	100.0%	100.0%
	3 養育支援訪問事業の実施	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	○
	4 同事業の年間訪問戸数	-	-	17	6	10	-	-	-	-	-	0
	5 子育て短期支援事業の実施	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○
	6 一時預かり事業の実施	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	-
	7 児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	6	0	29	0	0	0	0	37	6	0	0
	8 未所属児童の現認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 民生・児童委員を活用した子育て支援事業	-	-	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・児童虐待防止に向けた広報活動 ・乳児家庭全戸訪問事業	・児童虐待防止に向けた啓発活動 ・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	・乳児家庭全戸訪問事業	-
<広報啓発の状況>												
D	1 オレンジリボンキャンペーンの実施	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-	○
	2 啓発の方法等	・広報誌に記事を掲載。	-	・住民向けイベントにて啓発物品の配布。 ・広報誌9月号、10月号に掲載。	・広報誌に児童虐待通告を促す記事を掲載。	・広報誌及びホームページに記事を掲載。	・住民向けイベントで啓発物品等を配布	・広報誌に記事を掲載 ・住民向けイベントでリーフレット等を配布	・広報誌11月号に記事を掲載。 ・県下一斉オレンジリボンキャンペーン参加。 ・イベント等でオレンジリボンキャンペーン実施。	-	・広報誌に記事を掲載 ・住民向けイベントで啓発物品配布	・住民向けイベントで啓発物品配布
<児童虐待への対応状況>												
E	1 要対協個別ケース検討会議開催回数	1	0	9	1	11	3	0	11	4	0	0
	2 家庭児童相談員の配置	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
	3 児童虐待関連業務への実質対応職員数	0.2	0.2	0.4	0.2	0.5	1.0	0.5	1.7	0.1	0.1	0.2
	4 実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	20.0	0.0	67.5	20.0	32.0	14.0	0.0	21.8	0.0	0.0	15.0
	5 児童虐待対応のための体制拡充	①職員の増員 ②広報啓発の実施 ③研修会の開催 ④備品購入・改修等の環境整備 ⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築 ⑥その他の体制強化										
			○(H25)				○(H24)		○(H23)			
	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○
									○(H25)		○(H24)	
												・特定妊婦を要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースとした(H26~)。

[資料2-1] 平成26年度の市町村における児童虐待対策の取組状況

項目		野迫川村	十津川村	下北山村	上北山村	川上村	東吉野村
<基本的データ>							
A	1 児童人口(0~17歳)	45	415	102	36	69	145
	2 妊娠届出数	2	19	6	0	2	4
	3 児童虐待相談対応件数(市町村受付分)	1	3	0	0	0	0
<母子保健分野の状況> *H27.3.31時点							
B	1 母子健康手帳の交付(妊娠届出)時の保健師の面接実施率	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%
	2 乳児期(3~5ヶ月)健康診査受診率	100.0%	86.4%	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%
	3 同未受診児の現認率*	-	33.3%	-	-	100.0%	-
	4 1歳6ヶ月児健康診査受診率	100.0%	82.6%	66.7%	100.0%	66.7%	100.0%
	5 同未受診児の現認率*	-	50.0%	100.0%	-	0.0%	-
	6 3歳児健康診査受診率	100.0%	90.0%	80.0%	100.0%	100.0%	66.7%
	7 同未受診児の現認率*	-	50.0%	100.0%	-	-	50.0%
	8 母子保健領域のネットワーク(産科医療機関等と市町村の連絡体制)参画		○	○	○		○
<子育て支援事業の状況>							
C	1 乳児家庭全戸訪問事業の実施	○	○	○	○	○	○
	2 同事業の訪問率	100.0%	100.0%	100.0%	対象なし	100.0%	100.0%
	3 養育支援訪問事業の実施	-	-	○	○	-	○
	4 同事業の年間訪問戸数	-	-	-	0	0	0
	5 子育て短期支援事業の実施	-	-	-	-	-	-
	6 一時預かり事業の実施	-	-	-	-	-	-
	7 児童虐待相談以外の児童家庭相談対応件数	2	0	0	0	0	0
	8 未所属児童の現認	○	○	○	○	○	○
	9 民生・児童委員を活用した子育て支援事業	-	-	乳児家庭全戸訪問事業	児童虐待防止に向けた啓発活動	乳児家庭全戸訪問事業	乳児家庭全戸訪問事業 ・子育てサロン運営、子育て家庭の相談支援活動
<広報啓発の状況>							
D	1 オレンジリボンキャンペーンの実施	○	-	○	-	-	○
	2 啓発の方法等	・住民向けイベントにて啓発物品配布	-	・啓発用冊子、オレンジリボンの配布	・住民向けイベントで啓発物品配布	-	・役場庁内、公共施設、医療機関へのポスター掲示 ・住民向けイベントにて啓発物品配布及びポスター掲示
<児童虐待への対応状況>							
E	1 要対協個別ケース検討会議開催回数	3	0	0	0	0	1
	2 家庭児童相談員の配置	-	-	-	-	-	-
	3 児童虐待関連業務への実質対応職員数	0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	1.3
	4 実質職員1人当たりの虐待対応件数(市町村児童虐待相談件数(A3)/実質対応職員数(E3))	10.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5 児童虐待対応のための体制拡充						
	①職員の増員						
	②広報啓発の実施	○		○	○	○	
	③研修会の開催						
	④備品購入・改修等の環境整備						
	⑤乳幼児健診・未所属児童にかかるシステム構築						
	⑥その他の体制強化						